

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	県民生活課
職	課長
氏名	杉村 佳津子

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
<p>安全で安心な消費生活社会の実現を目指し、消費者取引の適正化や消費生活相談の充実など、消費者施策の推進を図るとともに、県民の生命財産に関わる交通事故や犯罪の減少を目指し、県民総ぐるみによる交通安全運動や防犯まちづくりを推進するなど、安全で安心な地域社会づくりを推進する。</p>	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か					
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか					
<p>①住民に最も身近な市町での相談受付・苦情処理及び消費者教育の取り組みへの支援並びに不適正な取引行為の規制を行うことにより、安全安心な消費生活社会を実現する。 ②「車中心」から「人優先」の総合的な交通安全対策を進めるとともに、交通ルールの遵守やマナーの重要性について官民挙げた交通安全県民運動の展開等により、県民意識の醸成、高揚を図る。特に高齢化社会における交通安全の中心層である高齢者の交通事故防止を図る。 ③「自分の身は自分で守る」という防犯意識についての県民理解の醸成、県民参加の意識高揚を図るとともに、自主防犯活動の推進と団体の育成により、安全で安心な地域社会を実現する。</p>						
(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する					
	目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
	①消費者苦情相談の市町受付割合	53 %	H25 年度	60 %	H27 年度	石川県新長期構想(改定)目標値
	②年間の交通事故による24時間死者数	61 人	H25 年度	45 人	H27 年度	第9次石川県交通安全計画目標値
	③自主防犯ボランティア団体数	509 団体	H25 年度	500 団体	H27 年度	石川県新長期構想(改定)目標値



26年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
①市町の消費生活相談体制充実強化の取り組み支援	住民に最も身近な市町において消費者苦情処理や消費者教育の取り組みが推進されるよう、消費生活相談員や担当職員への研修等の実施により人材育成を図るとともに、消費者行政活性化基金を活用し市町相談窓口の機能強化を推進する。
②体系的交通安全教育の推進	交通死亡事故の減少傾向の定着化を図るため、幼児・高齢者交通安全教室を始めとして、世代間交流交通安全教室や交通安全体験車による身体機能のチェックを伴うフォーラム等を実施し、子どもと高齢者の交通事故防止を図る。
③自主防犯活動の推進	自主防犯活動を推進するため、防犯教室やキャンペーン等により県民に対して普及啓発を図るとともに、防犯ボランティア団体合同研修会を通じて防犯ボランティア団体の人材育成と活動の充実を図る。